

令和7年度 第2回 西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月10日（木） 13時30分から15時30分
- 2 開催場所 西小学校 会議室
- 3 出席委員 木村 祥基、加藤 正寿、山田 悟央、三上 昌子、
前田 みち子、福田 達樹、種茂 実予子
- 4 欠席委員 中谷 忠司、平出 慎一郎、小粥 隆太郎
- 5 オフ・サ・ハ・ー 桐澤 祐貴（県居協働センター）
- 6 学 校 渡辺 浩司（校長）、佐野 尚也（教頭）、高橋 真之（教務・CS担
当）、國年 麻衣子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 國年 麻衣子

9 議長を選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

学校経営に関する課題の把握と改善策について

（1）西小児童が抱える課題について

11 会議記録

司会から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）西小児童が抱える課題について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、西小児童が抱える課題についての説明があった。また、教務主任から「安心して学校に通い、楽しい学校生活を送っているか」という点の中間アンケート結果の報告があった。中間アンケート結果と現在学校で行われている具体的取り組みの説明を受けて、「視点1 学校生活で取り組むことができそうなこと」「視点2 地域や家庭で取り組むことができそうなこと」についてグループに分かれて討議し、以下の発言があった。

■ Aグループ（木村副会長、三上委員、福田委員、種茂委員）

【視点1】

- ・ ぶつかりも成長過程。トラブルを肯定的にとらえ、もめ事もクラスで共有して自分ごと

としてとらえ、話し合える機会があるとよい。

- ・ ふわふわ言葉の取り組みはとても良いと思う。反対にちくちく言葉（こんなことを言いそうになった、言ってしまった）という例や、そこからどのように仲直りしたかを示すのもよいのではないか。

【視点 2】

- ・ 地域のイベントで大人が子供の様子を見ていく。
- ・ 家庭でも、ふわふわ言葉週間を行ってみる。

■ B グループ（加藤委員、山田委員、前田委員、桐澤さん）

【視点 1】

- ・ 中間アンケートの実施はよいこと。理由の「人間関係」「その他」の具体的な中身がわかるとより深い熟議につながる。
- ・ いじめアンケートの結果は「相手の立場に立って考える」経験の不足からか。道徳授業の更なる充実やシチュエーションごとにどうしたらよいかの話し合いを行ってはどうか。

【視点 2】

- ・ 部活については、人間関係の幅を広げる効果があり、学校以外の居場所になりうる。
- ・ 子供たちがどんなことをしたいかというニーズと地域の受け皿の情報を学校で仲介。
- ・ 協働センターでは西部中学校区に様々な講座を案内中。新たな人間関係を築ける場になれば。
- ・ 子供は親の話し方、態度をまねる。家庭でも注意していきたい。

その他に全体まとめとして以下の発言があった。

- ・ 授業のレベルはどのあたりに合わせているのか。（山田委員）
→個別最適な学びを取り入れ始めている。（教頭）
- ・ 部活動に関連して、公的な大会がなくなるとほめる場が減り残念。公的な大会・部活がないと家庭環境によってやれる、やれないが分かれてしまう。（福田委員）

12 その他連絡事項

- ・ 学校支援コーディネーターより、西小応援団の登録状況、1 学期のボランティアの活動内容について説明があった。
- ・ 司会より、次回会議は令和 7 年 11 月 27 日（木）午後 1 時 30 分より会議室で開催する旨の報告があった。